

## PictMaster0A 変更履歴

2017/3/1 Ver. 1.2

### 【機能改善】

- ・「分析」ボタンに生成結果の全パラメータについての3-Wayカバレッジを表示する機能を追加した。
- ・直交表で制約がある場合の処理を見直し、これまでよりも生成されるテストケース数が少なくなるようにした。

### 【バグ修正】

- ・直交表で4水準のパラメータが5個の場合にL16ではなくL32で生成が行われるバグを修正した。  
(ファイルoalibの入れ替えが必要)

2016/12/21 Ver. 1.1.3

### 【バグ修正】

- ・直交表で制約がある場合、実行環境によっては「原型シートがありません」というエラーとなる問題を修正した。

2016/10/11 Ver. 1.1.2

### 【バグ修正】

- ・分析ボタンで「パラメータ間のカバレッジ表示」を実行したとき、生成結果が「自動整形」などで先頭列に「No.」がある場合、最後のパラメータを含むカバレッジが表示されない問題を修正した。

2016/9/26 Ver. 1.1.1

### 【バグ修正】

- ・値がエイリアスを含みかつ「冗長なペアをチェック」が指定されていた場合、各パラメータの値の数や重み付けの有無によっては分析機能の「パラメータ間のカバレッジ表示」が正しく表示されない場合がある問題を修正した。

2016/9/20 Ver. 1.1

### 【機能改善】

- ・新しいバージョンのPictMaster0Aにワンタッチでアップデートが行なえる自動更新（バージョンアップ）機能を追加した。
- ・直交表方式で制約があると生成する際にカーソルの形状がちらついていたが、これをちらつかないようにした。
- ・制約の指定で「#」などの演算子のみ記入されていて値が記入されていないセルがある場合、生成エンジン側でエラー検出となっていたが、これをPictMaster0A側でエラー検出するようにした。

### 【バグ修正】

- ・値がエイリアスを含む場合、各パラメータの値の数によっては分析機能の「パラメータ間のカバレッジ表示」が正しく表示されない場合がある問題を修正した。
- ・サブモデルを指定して生成した結果に対して分析機能の「パラメータ間のカバレッジ表示」を実行するとCIT-BACHでエラーとなる問題を修正した。
- ・生成エンジンがCIT-BACHでドライブC以外のドライブでカバレッジを指定して生成を行なうとVBAのエラーとなる問題を修正した。

2016/9/13 Ver. 1.0.1

【バグ修正】

- ・直交表方式の場合、制約ありで生成した後に制約なしで生成すると、生成される組み合わせが正しくない場合がある問題を修正した。
- ・直交表方式でL512のテンプレートが使用されて制約がある場合、CIT-BACHのエラーとなる問題を修正した。
- ・直交表方式で制約がある場合、モデルが大きいと不必要に生成時間が長くなる問題を修正した。

2016/9/13 Ver. 1.0

【新規開発】

- ・旧PictMaster6.4.6からの派生開発

【旧PictMasterとの相違点】

- ・直交表を用いた組み合わせ生成方式をサポートした
- ・「分析」機能を追加し、生成結果を様々な切り口からの分析することを可能とした。
- ・記入する値の数が多い場合の視認性向上を目的として制約表と結果表の横幅を3セルから4セルに拡張した。